

高校生 ICT 2015 Conference

in 奈良

言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！

～ 高校生のボクたちだから ～

開催報告書

2015年7月26日（日）10:00-17:00

【会場】帝塚山大学 東生駒キャンパス

「大人が作った子どものルール&マナーを考える」

主催

高校生 ICT Conference 実行委員会

共催

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、帝塚山大学

1. 開催概要.....	1
2. 高校生 ICT Conference 2015 地域開催.....	3
3. 高校生 ICT Conference 2015 in 奈良 開催概要	4
4. 主担当.....	8
5. 高校生 ICT Conference 2015 サミット.....	9
6. 高校生 ICT Conference 最終報告会	9
7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応	9

1. 開催概要

名 称：	<p>高校生 ICT Conference 2015</p> <p>テーマ</p> <p>言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！</p> <p>～ 高校生のボクたちだから ～</p> <p>第1部「大人のルール&マナー」</p> <p>第2部「大人が作った子どものルール&マナーを考える」</p>
主催：	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校生 ICT Conference 実行委員会 (構成：安心ネットづくり促進協議会、大阪私学教育情報化研究会、一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構、一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会) ● 長野教育委員会 (長野のみ) ● 福岡県青少年インターネット適正利用推進協議会 (福岡のみ) ● 公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 (大分のみ) ● 特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム (神奈川のみ)
共催：	<p>内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、帝塚山大学 (奈良のみ)、</p> <p>大分県教育委員会、大分県高等学校 PTA 連合会 (大分のみ)、</p> <p>神奈川県教育委員会 (神奈川のみ)</p>
後援予定：	<p>一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所、全国高等学校情報教育研究会、北海道、北海道教育委員会、北海道高等学校 PTA 連合会、北海道青少年有害情報対策実行委員会、大阪府高等学校情報教育研究会、東京都高等学校情報教育研究会、奈良県、奈良県情報教育研究会、奈良県教育委員会、福岡県公立高等学校長協会、福岡県私学協会、福岡県公立高等学校 PTA 連合会、石川県、石川県教育委員会、石川県高等学校長協会、石川県高等学校 PTA 連合会、いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会、北陸携帯電話販売店協会</p>
協賛：	<p>株式会社サイバーエージェント、グーグル株式会社、株式会社ディー・エヌ・エー、グリー株式会社、LINE 株式会社、株式会社ラック、株式会社メディア開発綜研</p>
協力：	<p>アルプス システム インテグレーション株式会社、株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、一般社団法人情報教育研究所、デジタルアーツ株式会社、株式会社ミクシィ (順不同)</p>
開催目的：	<p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加し、2013 年度は、東京・大阪に加え、北海道、奈良、大分を新たに加えて 5 拠点にて開催し、計 51 校 267 人の高校生が参加しました。2014 度も同 5 拠点にて開催し、計 44 校 221 人の高校生が参加しました。</p>

	<p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p> <p>2015年度は、より全国的な規模での展開に向けて開催地域を拡大、新たに石川、長野、神奈川、福岡を加え開催します。</p> <p>さらに当事者たる高校生の意見を中央に届けるべく、各地域の代表者はサミットにより提言をまとめ、内閣府、総務省、文部科学省で発表を予定しています。</p> <p>※平成21年4月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成23年度の小学校を皮切りに、平成24年は中学校、平成25年度は高等学校で全面实施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しいICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全にICTを利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度は、スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p>
<p>開催の概要：</p>	<p>【各開催地での内容】※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>・第一部 「大人のルール&マナー」 (1) 挨拶 (2) 講演 (3) 熟議イントロダクション (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評</p> <p>・第二部 「大人が作った子どものルール&マナーを考える」 (1) 挨拶 (2) 講演 (3) 熟議 (4) グループ発表 (4) 総評 (5) サミット参加者発表</p> <p>【サミット】「言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！ ～ 高校生のボクたちだから ～」 (1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】 内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」 総務省、文部科学省、経済産業省にて成果・提言報告及び意見交換</p>
<p>各開催地募集人員等：</p>	<p>募集参加生徒 30名 募集見学者各回 30名（各開催地により変動あり）</p>

参加・参観 方法：	参加費・参観無料 [要事前登録]
高校生 ICT Conference 2015 実行委 員会：	<p>【委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 米田 謙三 (大阪私学教育情報化研究会 副会長) <p>【コアメンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> 齋藤 長行 (青山学院大学 株式会社 KDDI 研究所) 猪股 富美子 (お茶の水女子大学 人間発達科学研究所) 石田 幸枝 (公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会代表・消費者 団体訴訟室長) 植田 威 (特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事) 小城 英子 (聖心女子大学) 他、関係者団体、事業者等 <p>【事務局】 安心ネットづくり促進協議会 〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 齋藤ビル 2 階 TEL: 03-3562-8850 FAX : 03-3562-1180</p>

2. 高校生 ICT Conference 2015 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生が 2 つのテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

	地域	第 1 回	第 2 回	会場
地域 開催	北海道	2015 年 9 月 27 日 (日)	2015 年 10 月 18 日 (日)	札幌ユビキタス協創広場 U-cala
	石川	2015 年 9 月 13 日 (日)	—	金沢商工会議所
	長野	2015 年 9 月 5 日 (土)	2015 年 10 月 3 日 (土)	松本駅前会館
	東京	2015 年 10 月 11 日 (日)	—	東京ユビキタス協創広場 CANVAS
	神奈川	2015 年 10 月 4 日 (日)	—	岩崎学園
	大阪	2015 年 7 月 25 日 (土)	2015 年 9 月 20 日 (日)	① 内田洋行 ②大阪私学会館
	奈良	2015 年 7 月 26 日 (日)	—	帝塚山大学 東生駒キャンパス
	福岡	2015 年 9 月 12 日 (土)	—	ガスホール
	大分	2015 年 8 月 29 日 (土)	—	アイネス、大分県消費生活・男女共同参画プラザ
サミット		2015 年 11 月 3 日 13:30~17:00		東京ユビキタス協創広場 CANVAS
最終報告会		2015 年 12 月中旬頃		

3. 高校生 ICT Conference 2015 in 奈良 開催概要

概要	<p>高校生、教員、企業関係者など 80 名の参加者を得て、「大人が作った子どものルール&マナーを考える」をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>【リアル熟議】 主旨説明 奈良県立御所実業高等学校 安本 敦志 先生 これからの進め方を紹介、ICT カンファレンスの意義や目的などあわせて本日の流れも紹介しました。</p> <p>開会の挨拶 内閣府 政策統括官（共生社会担当）付参事補佐 鈴木 敦 様 高校生 ICTConference2015 の意義及び内閣府の役割についてもあわせて紹介いただきました。</p> <p>帝塚山大学 学長 岩井 洋 様 会場校を代表して、帝塚山大学の岩井学長から高校生たちへ向けた歓迎の意および、本日の議論への期待についてお話しいただきました。</p> <p>第一部 事業者による講演 企業さんがあらかじめ自分達でテーマと役割を決めて短い時間でそれぞれ重要な内容をプレゼンしてくださいました。 『スマホ・ケータイでのトラブルを防ぐには～ルールやマナーを守って正しく使おう～』 NTT ドコモ C S 関西 総務部 共通業務支援センター 松本 直子 様 スマートフォンを利用することに寄る危険性に関して講演してくださいました。普段の何気ない行動により、一生自身につきまとう問題につながる可能性を理解し、それらを防ぐ方法について考えていただくことがポイントです。</p> <p>『アカウントについて考える』 株式会社サイバーエージェント メディアサポート室 中村 広毅 様 アカウントの用語説明から始まり、企業、サービスがアカウントを用いて何を管理しているのか、アカウントの不正ログインの事例、アカウント情報を教えてしまうリスクに関して講演してくださいました。</p> <p>各プレゼンの内容をしっかり参加生徒はメモをとりながら次の熟議に備えていました。各プレゼンの内容も 現在の問題点、今後の課題、これからの活用方法、企業の立場からの提案など いろいろなアイデアが盛り込まれていて教員にも大変有意義なものでした。</p>
----	--

参加校 学校紹介 および グループ分け

まず、今回のテーマについてのイントロダクションとして、ルールとマナーについて、どのような視点で進めていくかを説明し、参加校紹介を行いました。その後グループ分けして7つのグループに分けられました。

第二部：熟議「大人のルール&マナー」

グループに分かれ参加各校の教員や教員を目指す大学院生、帝塚山大学のOGほか協力関係団体・企業の方がファシリテーターとなり、高校生熟議を開始しました。高校生たちは付箋紙にルールとマナーについて、考えていることを提示していき、活発な意見を出し合っていました。ネットの問題については大人が知らな過ぎるといった問題点を提示しつつ、その大人に向けた発信方法を検討しているグループもありました。ルールとマナーを深く考え込み、分析していたグループもありました。そこからいよいよ今回のテーマの大人が作った子どものルール&マナーを考えると、「高校生だからいえる提言」をキーワードにさらに付箋紙などを使いながらまとめていきました。付箋紙を模造紙に貼り付けていく中で意見を整理分類して、各グループでまとめて行きました。細かなテーマにしぼった班や少し大きなテーマで取り組んだ班などいろいろとありました。

書記は Conference のOB、OGや、教員を目指す大学生が担当しました。事前にまとめ方に関して打ち合わせを実施し、滞りなくまとめることができました。

(詳細は別紙「熟議録」をご参照ください)

第三部：グループ発表

- ・グループ発表（各グループ3分程度）

今回のポイントは 前半の事業者様の講演に対して、高校生がかなりうまく活用していたことです。スマホの明暗をうまく読み取り、つなげて発表していました。読むことができない利用規約をどのように考えるのか、SNS で発信する言葉に対してのおもいやり、コミュニケーションの大切さをうまくまとめてくれました。

その後、11月3日に東京で開催されるサミットへの奈良からの代表者を選考し、発表しました。

講評 帝塚山大学 日置 慎治 様

はじめに、本日参加した高校生の皆さんの何事にも挑戦しようという前向きな姿勢が素晴らしいこと、初めて会う他校の生徒と一緒に議論した貴重な経験、そしてこの経験が必ず将来のためになるであろうという点について話されました。

次に各グループの発表について、それぞれの主張に対する講評があり、最後に、必ずしも正しい見本とはいえない大人がいる現状にもかかわらず、本日の高校生たちは年齢的にはまだ未成年だが、行動は十分大人に値するのではないかというコメントで締めくくられました。

	最後に、奈良県くらし創造部 青少年・生涯学習課 末武 正之 様より閉会のご挨拶をいただきました。
参加校：	〔奈良県〕 関西中央高等学校、奈良県立奈良高等学校、奈良県立高田高等学校、奈良県立御所実業高等学校、奈良県立香芝高等学校、奈良県立奈良朱雀高等学校、奈良県立青翔高等学校、奈良県立奈良情報商業高等学校、奈良県立大和広陵高校 〔大阪府〕 羽衣学園高等学校
日時：	2015年7月26日（日）10:00-17:00
場所：	帝塚山大学 東生駒キャンパス 奈良市帝塚山 7-1-1
参加人数：	熟議参加生徒 41人 見学者 38人（教員・教育関係者・その他） 合計：79人
熟議グループ：	熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。（敬称略） 【第1班】6人 奈良県立奈良朱雀高等学校 2年 男子 奈良県立御所実業高等学校 3年 男子 奈良県立高田高等学校 1年 女子 奈良県立奈良朱雀高等学校 2年 男子 奈良県立奈良情報商業高等学校 3年 男子 奈良県立奈良高等学校 2年 女子 〔ファシリテーター〕 奈良県立香芝高等学校 川下 優一 〔書記〕 大阪工業大学 増井 康昌 【第2班】6人 奈良県立奈良朱雀高等学校 3年 男子 奈良県立御所実業高等学校 3年 男子 奈良県立奈良朱雀高等学校 3年 男子 奈良県立高田高等学校 1年 男子 奈良県立奈良情報商業高等学校 2年 男子 奈良県立奈良朱雀高等学校 3年 男子 〔ファシリテーター〕 奈良県立奈良朱雀高等学校 林 孝宣 〔ファシリテーター補助〕 目白大学 金子 真志 〔書記〕 奈良学園大学 岩本 香澄

【第3班】6人

奈良県立高田高等学校 1年 男子

奈良県立御所実業高等学校 3年 男子

奈良県立奈良朱雀高等学校 2年 男子

奈良県立奈良情報商業高等学校 2年 女子

奈良県立奈良朱雀高等学校 1年 女子

奈良県立大和広陵高校 2年 男子

〔ファシリテーター〕

なら情報セキュリティ総合研究所（ナリス） 溝渕 健作

〔ファシリテーター補助〕

なら情報セキュリティ総合研究所（ナリス） 井口 敬之

〔書記〕

鴻池病院 長谷川 愛莉

【第4班】5人

奈良県立青翔高等学校 3年 男子

奈良県立奈良朱雀高等学校 2年 男子

奈良県立奈良朱雀高等学校 2年 男子

奈良県立大和広陵高校 2年 男子

関西中央高等学校 2年 男子

〔ファシリテーター〕

帝塚山大学（卒） 村上 友香

〔書記〕

奈良県立御所実業高等学校（卒） 森田 拓也

【第5班】6人

関西中央高等学校 2年 男子

奈良県立奈良情報商業高等学校 2年 男子

奈良県立大和広陵高校 2年 男子

奈良県立奈良朱雀高等学校 1年 男子

奈良県立奈良朱雀高等学校 1年 男子

羽衣学園高等学校 3年 女子

〔ファシリテーター〕

関西中央高等学校 佐藤 竜介

〔書記〕

近畿日本鉄道株式会社 畠平 誠也

【第6班】6人

奈良県立奈良朱雀高等学校 3年 女子

関西中央高等学校 2年 男子

奈良県立奈良朱雀高等学校 2年 男子

<p>奈良県立大和広陵高校 2年 男子 奈良県立奈良情報商業高等学校 2年 男子 羽衣学園高等学校 2年 女子 [ファシリテーター] 奈良県立十津川高等学校 下村 陽信 [ファシリテーター補助] 奈良地域の学び推進機構 石川 千明 [書記] 大阪情報コンピュータ専門学校 日下部 拓人</p> <p>【第7班】6人</p> <p>奈良県立奈良朱雀高等学校 2年 男子 奈良県立奈良朱雀高等学校 3年 男子 奈良県立奈良情報商業高等学校 3年 男子 奈良県立大和広陵高校 1年 女子 奈良県立香芝高等学校 3年 女子 羽衣学園高等学校 2年 女子 [ファシリテーター] 奈良県立高田高等学校 鹿島 慎一 [ファシリテーター補助] 畿央大学大学院 浅野 晃一 [書記] 近畿日本鉄道株式会社 吉田 航也</p>

4. 主担当

奈良県情報教育研究会 (奈良県立御所実業高等学校)	安本	司会、ファシリテーター、書記手配
安心ネットづくり促進協議会	白戸 他	事務局、庶務、受付
草の根サイバーセキュリティ運動 全国連絡会	吉岡	庶務、受付
各地協力団体、事業者等		挨拶、講演、現地調整、ファシリテーター、書記、記録（撮影）、他
帝塚山大学	日置	会場設営、機材準備等

(開催後の予定)

5. 高校生 ICT Conference 2015 サミット

高校生 ICT Conference 2015 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

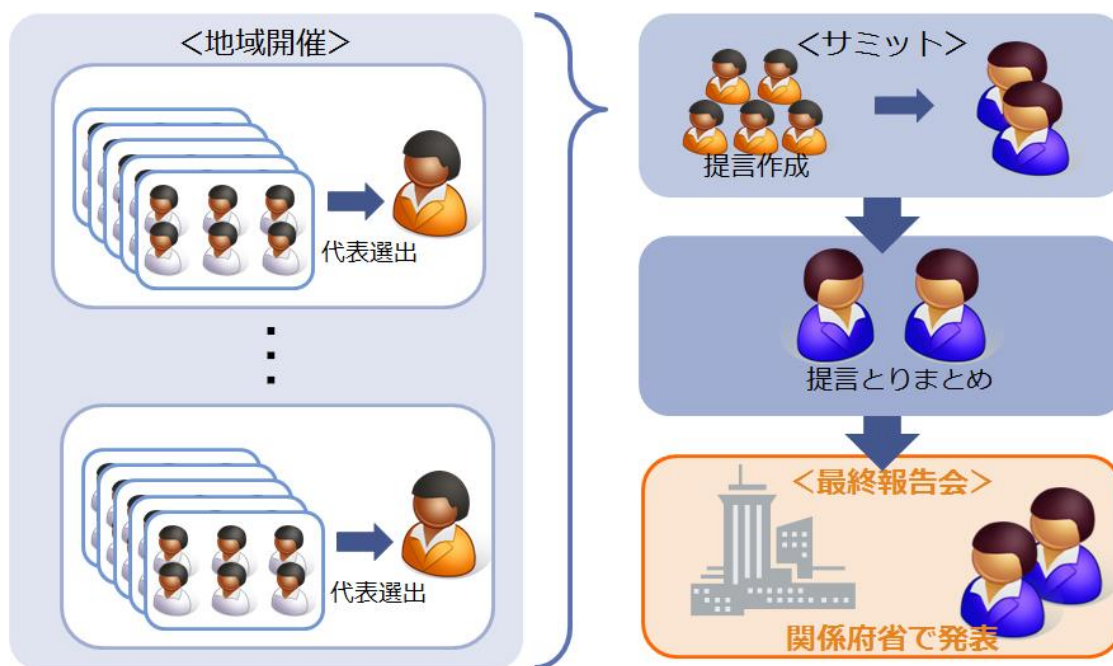
- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 終了後、各校の引率教職員と参加校代表生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表 2 名を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

6. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2015 サミットで検討された提言を、選出された代表者 2 名が報告用にとりまとめを行い、関係府省にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを語る。

【報告先予定府省】

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省



7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表の画面の撮影 (又は画像保存)
- 2) Conference 終了後、発表の画像と併せて高校生 ICT Conference 2015 のサイトにアップデート
- 3) 終了後、講評と併せて、各会場責任者にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2015 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 5) 高校生 ICT Conference 2015 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 6) 最終報告会での発表